

各 位

不動産投資信託証券発行者

KDX 不動産投資法人

代表者名 執行役員

桃井 洋聡

(コード番号 8972)

資産運用会社

ケネディクス不動産投資顧問株式会社

代表者名 代表取締役社長

寺本 光

問合せ先

上場リート本部戦略企画責任者

長又 美智留

TEL: 03-5157-6010

合併に伴う1口に満たない端数投資口の処理に関するお知らせ

2023年11月1日に効力が生じたKDX不動産投資法人(2023年11月1日付でケネディクス・オフィス投資法人より商号を変更、以下「本投資法人」といいます。)とケネディクス・レジデンシャル・ネクスト投資法人(以下「KDR」といいます。)及びケネディクス商業リート投資法人(以下「KRR」といいます、KDR及びKRRを併せて「消滅投資法人」といいます。)の吸収合併(以下「本合併」といいます。)に伴い、2023年10月31日の各消滅投資法人の最終の投資主名簿に記載又は記録された投資主(以下「割当対象投資主」といいます。)の皆様に対して、本投資法人の投資口の割当てを行いました。一部の割当対象投資主の皆様におかれましては、交付すべき投資口の口数に1口未満の端数(以下「端数投資口」といいます。)が生じています。

かかる端数投資口については、投資信託及び投資法人に関する法律(昭和26年法律第198号。その後の改正を含みます。)の規定に基づき、市場において行う取引により売却し、当該売却代金を、端数が生じた割当対象投資主の皆様に対して、その端数に応じて交付する予定です。

該当する割当対象投資主の皆様に対しては、別途郵送にて交付額及び交付方法等についてお知らせし、2024年1月中旬を目途にそのお支払いを開始する予定です。

記

1. 投資口の割当てについて

本投資法人の投資口の割当てを受ける権利は、割当対象投資主(2023年10月27日の権利付最終取引日に各消滅投資法人の投資口を保有されていた投資主)の皆様が生じています。

	本投資法人	KDR	KRR
本合併に係る割当ての内容	1	1.34	1.68

(注)本合併により発行された本投資法人の新投資口数:2,446,037口

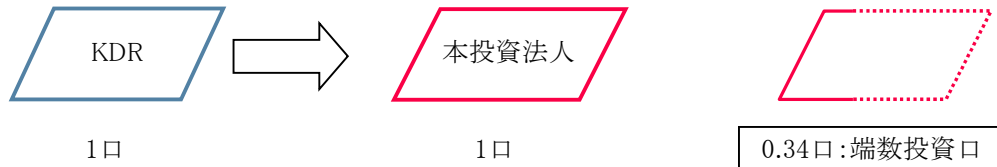
2. 割当投資口の算定方法

(1) KDRの割当対象投資主の皆様

計算式 : KDR投資口の保有口数 × 1.34 = 本投資法人投資口の割当数

- ① 基準日時点でKDR投資口を1口保有されていた投資主の場合
 本合併により割り当てられる本投資法人の投資口は、1.34口となります。

(ご参考: 図解)



→ 1口に満たない0.34口分の売却代金をお支払いいたします。

- ② 基準日時点でKDR投資口を5口保有されていた投資主の場合
 本合併により割り当てられる本投資法人の投資口は、6.70口となります。

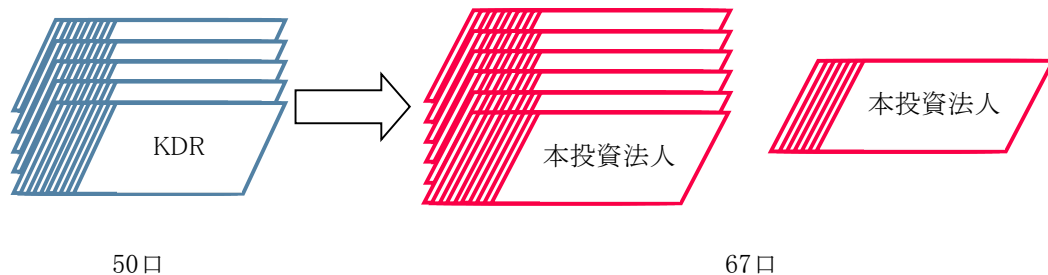
(ご参考: 図解)



→ 1口に満たない0.70口分の売却代金をお支払いいたします。

- ③ 基準日時点でKDR投資口を50口保有されていた投資主の場合
 本合併により割り当てられる本投資法人の投資口は、67口となります。

(ご参考: 図解)



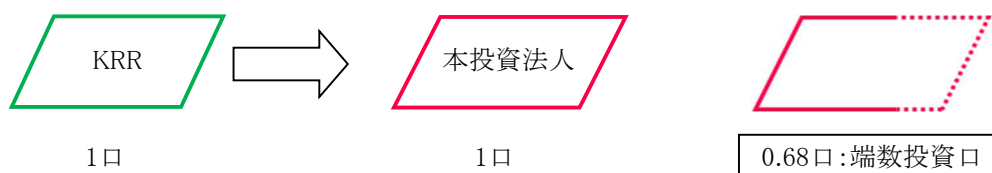
→ 端数が生じないため、端数投資口分の売却代金のお支払いはありません。

(2) KRRの割当対象投資主の皆様

計算式 : KRR投資口の保有口数 × 1.68 = 本投資法人投資口の割当数

- ① 基準日時点でKRR投資口を1口保有されていた投資主の場合
 本合併により割り当てられる本投資法人の投資口は、1.68口となります。

(ご参考: 図解)



→ 1口に満たない0.68口分の売却代金をお支払いいたします。

- ② 基準日時点でKRR投資口を5口保有されていた投資主の場合
 本合併により割り当てられる本投資法人の投資口は、8.40口となります。

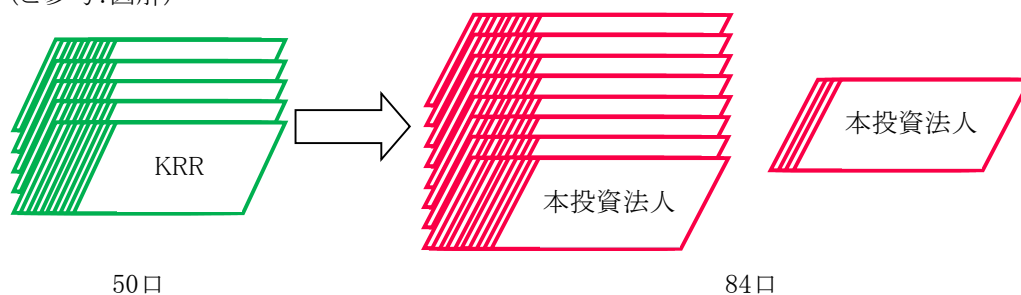
(ご参考: 図解)



→ 1口に満たない0.40口分の売却代金をお支払いいたします。

- ③ 基準日時点でKRR投資口を50口保有されていた投資主の場合
 本合併により割り当てられる本投資法人の投資口は、84口となります。

(ご参考: 図解)

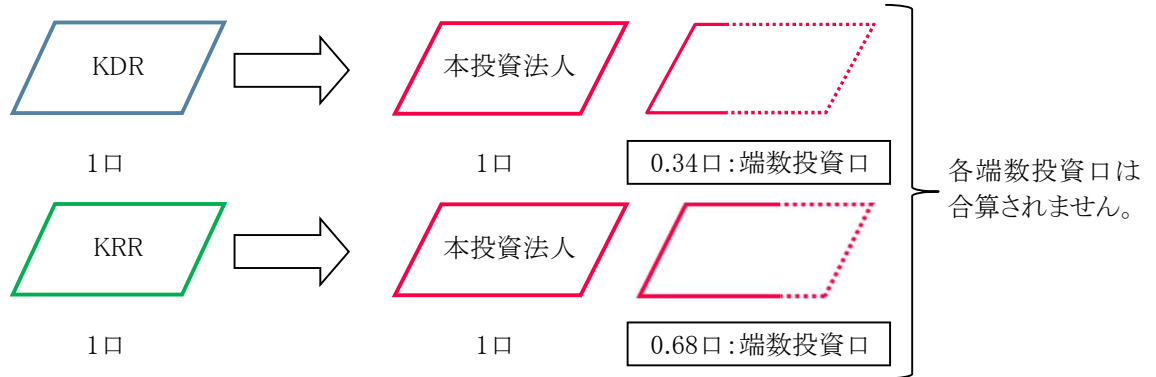


→ 端数が生じないため、端数投資口分の売却代金のお支払いはありません。

(3) KDR及びKRR双方の割当対象投資主の皆様

基準日時点でKDR投資口及びKRR投資口をともに保有されていた場合には、KDR投資口に係る端数投資口とKRR投資口に係る端数投資口は合算されず、各消滅投資法人の投資口毎に上記に記載の通り取り扱われます。

(ご参考: 図解)



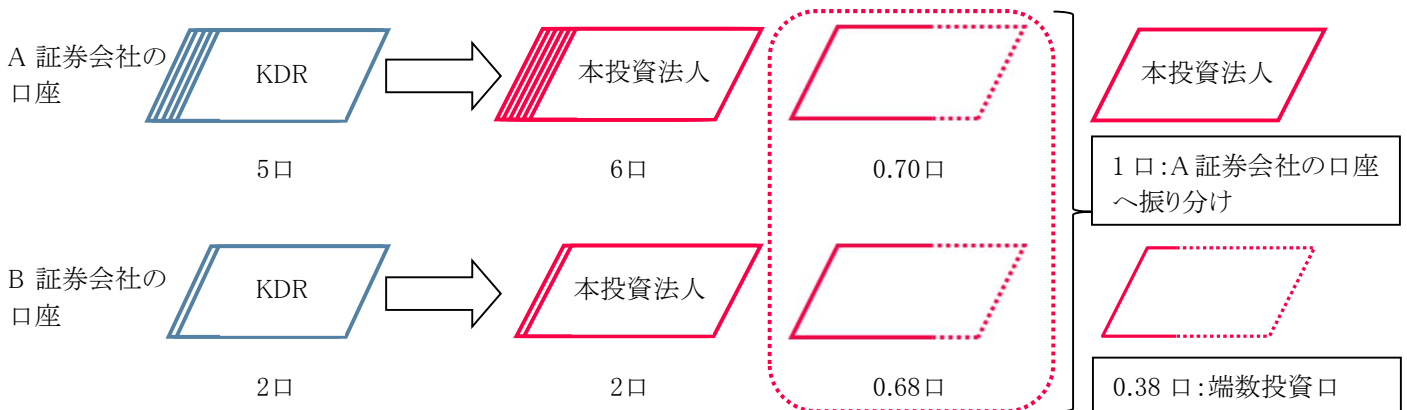
→ 各端数投資口は合算されず、各消滅投資法人の投資口毎に端数投資口分の売却代金をお支払いいたします。

(4) 複数の証券会社の口座にてKDR投資口又はKRR投資口を保有されていた割当対象投資主の皆様

基準日時点で複数の証券会社の口座にてKDR投資口又はKRR投資口を保有されていた場合には、各消滅投資法人の投資口毎に名寄せした合計口数により端数投資口の処理を行います。各証券会社の口座における端数投資口を合算した口数が1口以上となる場合は、最も保有投資口数の多い証券会社の口座に整数投資口が記録されます。(保有投資口数が同数の場合は、口座管理機関コードの最も大きい証券会社の口座に記録されます。)また、当該合算後に生じた端数投資口は、1口に満たない端数として、上記に記載の通り取り扱われます。

(ご参考: 図解)

基準日時点でA証券会社の口座に5口、B証券会社の口座に2口KDR投資口を保有されていた場合



→ 各証券会社の口座における端数投資口の合算は、1.38口となります。1口分については、KDRの記録投資口数が最も大きい証券口座(上記の例ではA証券会社の口座)に記録されます。また、当該合算後に生じた1口に満たない0.38口については端数投資口としてその売却代金をお支払いします。

3. 今後のスケジュール(予定)

2023年11月30日	割当通知発送 ^(注1)
2024年1月中旬	合併交付金 ^(注2) 及び端数投資口売却代金の支払開始 ^(注3)

- (注1) 2023年10月31日を基準日として、当該基準日時点の各消滅投資法人の最終の投資主名簿に記載又は記録された投資主に対して発送されます。
- (注2) 各消滅投資法人の2023年10月31日までの各最終営業期間(KDRについては、2023年8月1日から2023年10月31日まで。KRRについては、2023年4月1日から2023年10月31日まで。)の金銭の分配の代わり金として、割当対象投資主又はその保有する投資口に係る登録投資口質権者の皆様に対して、最終営業期間の金銭の分配額見合いの合併交付金をお支払いする予定です。各消滅投資法人の合併交付金の予想については、KDRについては2023年6月13日付「2023年10月期(2023年8月1日～2023年10月31日)の運用状況及び合併交付金の予想に関するお知らせ」、KRRについては2023年6月13日付「2023年10月期(2023年4月1日～2023年10月31日)の運用状況及び合併交付金の予想に関するお知らせ」をそれぞれご参照ください。なお、合併交付金は現時点において未定であり、確定次第お知らせいたします。
- (注3) 現時点においては、端数投資口の市場において行う取引による売却に要する期間等が判明していないため、端数投資口売却代金の支払開始日は予定と前後する場合があります。なお、端数投資口処分代金は、端数が生じた割当対象投資主の皆様に対して「端数投資口処分代金領収証」等をご送付し、当該領収証等を指定の金融機関にて現金に引き換える方法により交付する予定です。

以上

* 本投資法人のウェブサイト: <https://www.kdx-reit.com/>